

第3期生・新入生オリエンテーションの開催

2012年10月に「文部科学省・日中韓等の大学間交流を通じた高度専門職業人育成事業」の留学生として迎え入れた新入生を対象として、新入生オリエンテーションを開催しました。このオリエンテーションは、留学生が今後2年間で履修する授業の説明や、入学後の各種提出書類の作成サポートなど、日本に来て間もない留学生がスムーズに本学の学生生活に入れるようにすることを目的としています。

今回迎え入れた留学生は、韓国1名、中国10名の合計11名で、本プログラムでは第3期目の留学生となります。昨年10月と本年4月に入学した留学生17名(中国13名、韓国4名)とあわせると、全員で28名となります。

はじめに、本プログラム代表の岡安章夫海洋科学技術研究科長より、新入生への歓迎と激励の言葉で始まり、新入生は真剣な表情で聞き入っていました。次に、本学大学院系の土屋主任が、授業の履修や奨学金受給上の注意など、在学に関する説明しました。また、日本語については、担当の大島弥生准教授が各補講内容の説明とともに、留学生1人1人と直接会話し、現時点での日本語レベルを確認しました。最後に、留学生11名が大学院系土屋主任と担当CD3名のサポートを受けながら、日本語で提出書類を作成しました。



岡安研究科長の挨拶



授業履修に関する説明



大島准教授(右側)による日本語レベル確認



日本語での提出書類作成